

2019年度 大阪城コンクリートカヌー競技大会 募集要項

大会名 大阪城コンクリートカヌー競技大会（第20回コンクリートカヌー競技記念大会）
日時 2019年8月24日（土）・25日（日）
会場 大阪城公園 東外堀及び記念樹の森
主催 近畿高等学校土木教育研究会
後援 国土交通省近畿地方整備局 公益社団法人土木学会関西支部（申請中）
大阪府教育委員会 大阪市教育委員会（申請中）
大会ホームページ <http://nch2015.jp/concrete-canue/>

1. 募集規定

(1) 応募資格

建設系学科を設置する高校、大学、高専、専門学校
1校1艇（近畿高等学校土木教育研究会加盟校は2艇まで可）

(2) 申込方法

指定の用紙に必要な事項を記入し、メール又はFAXにてお申込み。
（用紙は大会ホームページよりダウンロードできます）

申込期間：2019年5月7日～6月28日

大会運営上、最大40艇までとします。先着順に受け付けますので、お早めにお申込みください。

(3) 参加費

1艇につき、高校：3,000円、大学・高専・専門学校：30,000円
保険料1人100円（大会に参加する生徒・学生は全員に保険加入を義務づけています）

(4) カヌーの製作および輸送

カヌーの製作および輸送は応募者の責任で行ってください。
高校には製作および輸送の補助費として1校につき1万円を支給します。

(5) 事前資料の提出

競技への申込後、下記の項目①～⑤をまとめた資料（事前資料）を提出いただきます。
※製作の部での審査員用資料となります。
（用紙は大会ホームページよりダウンロードできます）

- ① 艇名、学校名、② 設計のコンセプトおよび構造上の工夫（図面、写真など）、
③ 使用材料の工夫、④ 製作過程の工夫、製作期間、製作に要した人数、⑤ その他

事前資料提出締切：2019年7月26日

(6) A1パネルの作成（当日ポスターセッション用）

当日ポスターセッション時のプレゼン用として、製作したカヌーの特徴についてまとめたA1パネルを持参いただきます。

【申込み・事前資料送信先】

近畿高等学校土木教育研究会事務局（大阪城コンクリートカヌー競技大会事務局）
〒553-0007 大阪府大阪市福島区大開 2-17-62
大阪府立西野田工科高等学校 建築都市工学系 近藤 大地
E-mail : taichi_1982jp@yahoo.co.jp FAX : 06-6461-3483 TEL : 06-6461-0023

2. 当日スケジュール（予定）

【1日目】 8月24日	11:00	受付（カヌー搬入は10:00～）
	12:00	事前説明会
	13:00	ポスターセッション （製作の部審査・デザイン投票）
	15:45	講演会
【2日目】 8月25日	9:30	選手集合
	10:00	競漕の部 （予選・準決勝・決勝）
	14:30	表彰・閉会式
	15:30	カヌー搬出・解散

3. 悪天候・警報時の対応について

荒天による開催の中止等は、現地にて判断します。ただし、台風のように事前に予測がつく場合は実施日前日までに判断します。

（開催の有無については大会ホームページに掲載します）

4. 安全対策

- (1) 救命胴衣は主催者側でも用意しますが、原則各校で持参してください。乗艇時は救命胴衣の着用を義務づけています。救命胴衣を着用せずに乗艇した時点で失格とします。（参加校は試走の安全対策として救命胴衣の必要数を日頃から常時所持しておいてください。）
- (2) 参加校が事前に製作艇の試走や競漕の練習等で乗艇する場合は、以下の安全対策をとってください。
①指導教員の監督・付き添い ②救命胴衣の着用 ③119番への連絡手段の確保
- (3) 参加校は、参加生徒についての健康状態を十分把握して、無理に参加させることのないよう注意してください。
- (4) その他、大会中の安全には十分留意してください。

5. その他

オール・パドルは各校で持参してください。

6. コンクリートカヌー製作規定（規定に違反した場合は出漕をお断りする場合があります。）

- ① カヌーは単胴船の新造艇とする。
アウトリガー（外に張り出した浮力体）や舵は取り付けてはならない。
- ② 各団体からの参加艇数は1艇までとする。（近畿高等学校土木教育研究会加盟校は2艇まで可）
- ③ カヌーはパドルと艇が離れているもので、オープンデッキタイプとし、クルーは2名とする。カヌーの長さは4m以下、カヌーの幅に制限は設けない。クルーの交代は自由とする。
- ④ カヌーはパドルによる漕艇によって競漕するものとする。
- ⑤ 主にセメント系材料（セメントモルタル、セメントコンクリートなど）を使用して作製することとし、セメント系材料の割合は60%以上とする。
- ⑥ 補強材（金網・鉄筋・FRP・樹脂など）は必要に応じて使用可能とするが、カヌー躯体に発泡スチロール等を埋め込むことは禁止とする。
- ⑦ 原則として、クルー2名が乗艇した状態で沈まないこととする。万一転覆あるいは沈没した場合を考慮して、容易に引き上げられるよう浮き（ブイ）をつけたロープ（長さは10m以上）をカヌーに固定すること。ロープは簡単に切れたり外れたりすることのないように、取り付け方法やロープの強度（直径10mm程度）などに配慮すること。

- ⑧ カヌーに取り付けた部材は、競漕時に転覆あるいは沈没した場合でもカヌーからはずれないように、カヌーにしっかりと固定すること。
- ⑨ 万一転覆あるいは沈没した場合でも、クルーが自由にカヌーから離れられるように、クルーをシートベルト等でカヌーに固定してはならない。
- ⑩ カヌーの外面にはカヌーの艇名と所属を表示すること。着色も可能。
- ⑪ パドルは、自作、市販のいずれを使用してもよい。また、シングルパドル（ブレードが片方だけに付いているパドル）とダブルパドル（両側にブレードの付いているパドル）の種類は問わない。

12. 競技の方法

競技は製作の部・競漕の部に、これらの得点を総合した総合の部により行う。また、一般投票によるデザインの部についても表彰を行う。

① 製作の部：

カヌーの構造や使用材料、その特徴やアイデアなどを A1 サイズのパネルにまとめ、審査委員に対して説明を行う（ポスターセッション形式）。審査員は発表者による説明と事前に提出された概要資料（事前資料）をもとに、カヌーの特徴やアイデアについて、5段階で評価を行う。

② 競漕の部：

カヌーの競漕結果を審査する。競漕方法は実行委員会が定める。

③ 総合の部：

製作の部・競漕の部の各順位による点数の合計点で総合順位を決定する。

点数の詳細については、実行委員会が定める。

※ 審査委員は参加校教員各 1 名とその他、大会会長が認めた者(若干名)とする。

④ デザインの部：

一般の来場者に対し投票用紙を配布し、投票を行ってもらおう。仕上がりのきれいさ、ユニークな発想とオリジナリティに優れたデザインの上位 3 艇を記入する。